

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年2月10日
【四半期会計期間】	第13期第3四半期（自平成23年10月1日至平成23年12月31日）
【会社名】	オリコン株式会社
【英訳名】	Oricon Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 小池 恒
【本店の所在の場所】	東京都港区六本木六丁目8番10号
【電話番号】	03 - 3405 - 5252（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役経理本部長 新井 弦
【最寄りの連絡場所】	東京都港区六本木六丁目8番10号
【電話番号】	03 - 3405 - 5252（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役経理本部長 新井 弦
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第12期 第3四半期 連結累計期間	第13期 第3四半期 連結累計期間	第12期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年12月31日	自平成23年4月1日 至平成23年12月31日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高(千円)	5,096,646	4,869,459	6,790,659
経常利益(千円)	829,507	671,578	1,146,575
四半期(当期)純利益(千円)	558,454	357,935	796,617
四半期包括利益又は包括利益(千円)	575,952	381,841	835,763
純資産額(千円)	1,882,265	2,150,270	2,169,477
総資産額(千円)	5,340,653	4,805,190	5,060,456
1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	3,569.08	2,292.47	5,086.66
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	3,539.56	2,288.69	5,056.09
自己資本比率(%)	29.7	37.5	36.5

回次	第12期 第3四半期 連結会計期間	第13期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自平成22年10月1日 至平成22年12月31日	自平成23年10月1日 至平成23年12月31日
1株当たり四半期純利益金額(円)	1,225.73	1,052.53

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第12期第3四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災からの復興に向けた動きが出始め、企業の生産活動や個人消費に回復の兆しが見られたものの、欧州の金融不安やそれに伴う急激な円高の進行等によって、先行き不透明な状況で推移しました。

一方、情報通信の分野においては、通信キャリア各社よりスマートフォンの新製品が次々と販売開始になり、スマートフォン市場が急速に拡大しました。株式会社MM総研の調べでは、平成23年度上期（平成23年4月～9月）のスマートフォンの出荷台数は、前年同期比4.5倍の1,004万台となり、携帯電話端末全体の総出荷台数の49.5%を占めています。平成23年度下期（平成24年10月～）においても、通信キャリア各社から、スマートフォンの冬春モデルの新製品が、順次、発売されました。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間において当社グループでは、スマートフォンへの対応を推進し、積極的に先行投資を行いました。特に、Android 携帯電話向けの音楽配信サービスについては、配信楽曲の充実に注力し、フィーチャーフォン向けの着うたフル とほぼ同水準の楽曲ラインナップとなりました。また、対応端末を増やすとともに、ユーザーの利便性と満足度を高めるため、デザイン（ユーザーインターフェイス）を一新する大幅なリニューアルを平成23年11月に行いました。平成23年12月度のAndroid携帯電話向け音楽配信での売上高は、フィーチャーフォン向け着うたフルの売上高の8%になりました。一方、「オリコンアプリランキング」については、様々なカテゴリーをカバーして展開していますが、ソーシャルゲーム市場が活況になってきていることを睨み、スマートフォン向けのソーシャルゲームに特化していくことも視野に入れ、ユーザー満足度に基づく「オリコンソーシャルゲームランキング」の開発に着手し、平成24年2月よりランキングの発表を開始しました。

今後、スマートフォン市場がさらに成長していくにつれ、インターネットへの接触は増大し、それに伴ってGoogle / Yahoo!の検索サービスの利用が拡大していくことが見込まれます。当社グループで平成18年9月より展開している「顧客満足度（CS）ランキング連動型広告」は、安定的に収益を伸ばしていますが、その要因の一つは、ジャンルに関わるワードについて、Google / Yahoo!の検索結果の上位表示を獲得しているため、検索結果から流入するユーザーが着実に増えているということです。例えば、「自動車保険」での検索結果では、第3位に表示されており、自動車保険のCSランキング掲載ページへの全流入数のうち、58.5%が検索結果から誘導され、さらに、CSランキング掲載ページからリンクインしている各企業のサイトに月間で53,000回誘導する実績を出しています（平成23年12月度）。検索結果から誘導されてくるユーザーは、目的意識が高く、消費行動に移りやすい特性があります。検索結果の上位表示を獲得した上で、このような質の高いユーザーを検索結果からCSランキング（ソーシャルゲームランキングを含む）に誘導し、ユーザー一人当たりの広告売上額を最大化することを、当社グループの成長戦略の一つに位置付けました。ユーザー一人当たりの広告売上額を伸ばすため、収益の機会を拡充すべく、これまでのクリック課金以外に「一括資料請求」「一括見積り」の機能を追加し、ハイブリッド型にするためのシステム開発に着手しました。その成果の第一弾として、平成24年2月2日より、「大学受験塾・予備校」のジャンルで「一括資料請求」のサービスを開始しました。

<ご参考>平成24年2月2日現在の検索結果：「塾 大学受験」～第2位、「大学受験 予備校」～第3位

当第3四半期連結累計期間の報告セグメントごとの状況は、以下の通りであります。

#### WEB事業

東日本大震災によって、平成23年4月、5月に予定されていたキャンペーン企画が延期もしくは中止になった影響により、タイアップ型広告とバナー広告の販売において一時的な機会損失が発生しました。また、音楽産業からの広告出稿も、第3四半期連結累計期間を通して、前年同期と比べて減少しました。

一方、顧客満足度（CS）ランキング連動型広告については、堅調に推移しており、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期と比べて増加しました。Google / Yahoo!の検索結果において、「自動車保険」等、多くのワードで上位表示をすでに獲得しており、検索結果から流入してくる目的意識の高いユーザーを効率良くクライアント企業のサイトに誘導していることが、安定的に収益を伸ばしている要因の一つです。また、前述のとおり、収益の機会を拡充してユーザー一人当たりの課金額（広告売上）を増やすべく、すでに検索結果で上位表示を獲得しているジャンルを中心に、現状のクイック課金以外に「一括見積り」または「一括資料請求」などの機能を追加し、ハイブリッド型にする

ためのシステム開発に着手しました。

以上の結果、WEB事業全体の当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比24,499千円減（3.2%減）の749,435千円、セグメント利益は前年同期比7,876千円減（3.0%減）の252,478千円となりました。

#### モバイル事業

着うたフルについては、第1四半期及び第2四半期では、入会者が退会者を上回り、売上高は前年同期と比べ、それぞれ微増でしたが、第3四半期においては、市場全体の縮小による影響が大きくなり、退会者数が入会者数を上回る状況となりました。その結果、当第3四半期連結累計期間の着うたフルの売上高は、前年同期と比べて減少となりました。

着信メロディと着うたについても、市場全体の縮小に伴って、退会者数が入会者数を上回って推移し、それぞれの売上高は、前年同期と比べて減少となりました。一方、Android携帯電話向け音楽配信は、着実に売上が伸びました。また、スマートフォン関連のサービスとして、「オリコンアプリランキング」については、費用が先行する状況で推移しました。

以上の結果、モバイル事業全体の当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比210,410千円減（7.6%減）の2,542,715千円、セグメント利益は前年同期比130,032千円減（13.2%減）の852,355千円となりました。

#### 雑誌事業

現在、一般向け週刊エンタテインメント誌「オリスタ」、オーディション情報誌「月刊デ・ビュー」、エンタテインメント業界向けビジネスマガジン「ORIGINAL CONFIDENCE」の3誌を発行していますが、雑誌広告市況が低迷している影響を受け、広告出稿が前年同期と比べて減少し、当第3四半期連結累計期間の雑誌事業全体の売上高は前年同期比29,682千円減（2.7%減）の1,057,181千円、セグメント利益は前年同期比78,620千円減（25.2%減）の232,760千円となりました。

一般向け週刊エンタテインメント誌「オリスタ」については、誌面の充実を継続的に図っていること、7月の大幅リニューアルによって一冊当たり平均100円値上げしたこと、「オリスタ」アプリからの購入も加わってネット通販全体の売上が伸びたこと等を主な要因として、当雑誌の購読売上は前年同期を上回りました。

#### データサービス事業

データサービス事業は、音楽データベース提供サービス（放送局向け及びEコマースサイト向け）とランキング情報などの販売（マスコミ向け）、音楽ソフト・映像ソフト・書籍のマーケティングデータを提供するオンラインサービス「ORICON BiZ online」で構成されています。

当第3四半期連結累計期間においては、前年同期に不振だった放送局へのランキング情報などの販売が回復しました。また、「ORICON BiZ online」についても、メニュー追加等による契約単価のアップを図ったことが奏功し、その売上高は前年同期と上回りました。

以上の結果、データサービス事業全体の当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比39,849千円増（8.4%増）の516,688千円、セグメント利益は前年同期比26,222千円増（19.7%増）の159,609千円となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績については、売上高は前年同期比227,187千円減（4.5%減）の4,869,459千円、営業利益は前年同期比155,916千円減（17.5%減）の733,248千円、経常利益は前年同期比157,929千円減（19.0%減）の671,578千円となりました。営業利益の減少額より経常利益の減少額が大きくなりましたが、これは主として、前年同期に計上した持分法による投資利益や保険戻戻金が当第3四半期連結累計期間では計上されず営業外収益が減少したことによるものであります。四半期純利益については、前年同期比200,518千円減（35.9%減）の357,935千円を計上しました。経常利益の減少率より四半期純利益の減少率が大きくなった主な要因は、当第3四半期連結累計期間において投資有価証券売却損26,070千円、災害による損失10,782千円等を特別損失として計上したこと、税金費用が法定実効税率並みになったこと等であり、前年同期には税効果会計の適用によって、税務上発生した繰越欠損金が税金費用を抑えていましたが、前連結会計年度末において課税所得と相殺可能な繰越欠損金がなくなったため、当第3四半期連結累計期間においては、税金費用が法定実効税率並みになりました。

Androidは、Google Inc.の商標または登録商標です。

着うた、着うたフルは、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

#### (2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (3) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	628,452
計	628,452

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成24年2月10日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	157,950	157,950	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	当社は単元株制度は採用しておりません。
計	157,950	157,950	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成24年2月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成23年10月1日～ 平成23年12月31日	-	157,950	-	1,090,916	-	12,799

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 600	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 157,350	157,350	-
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	157,950	-	-
総株主の議決権	-	157,350	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が10株(議決権の数10個)含まれております。

【自己株式等】

平成23年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
オリコン株式会社	東京都港区六本木 六丁目8番10号	600	-	600	0.38
計	-	600	-	600	0.38

(注) 当第3四半期会計期間末(平成23年12月31日)の自己株式数は、8,200株となっております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、海南監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	760,991	1,289,087
受取手形及び売掛金	1,352,224	1,297,451
商品及び製品	8,637	8,252
仕掛品	18,678	9,862
その他	682,174	295,798
貸倒引当金	20,184	20,781
流動資産合計	2,802,520	2,879,670
固定資産		
有形固定資産	315,891	155,883
無形固定資産		
のれん	643,836	608,788
ソフトウェア	359,298	377,986
その他	3,209	3,209
無形固定資産合計	1,006,343	989,984
投資その他の資産		
投資有価証券	343,192	278,943
その他	606,310	516,994
貸倒引当金	19,832	22,103
投資その他の資産合計	929,670	773,834
固定資産合計	2,251,905	1,919,702
繰延資産	6,029	5,817
資産合計	5,060,456	4,805,190
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	312,416	390,727
短期借入金	100,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	460,936	537,272
1年内償還予定の社債	96,000	116,000
未払法人税等	230,105	33,931
返品調整引当金	14,185	30,425
その他	579,853	537,609
流動負債合計	1,793,496	1,695,965
固定負債		
社債	274,000	276,000
長期借入金	823,482	682,954
固定負債合計	1,097,482	958,954
負債合計	2,890,978	2,654,919



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,090,916	1,090,916
資本剰余金	12,799	12,799
利益剰余金	761,469	993,045
自己株式	-	275,869
株主資本合計	1,865,185	1,820,891
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,234	16,630
その他の包括利益累計額合計	17,234	16,630
新株予約権	5,267	4,086
少数株主持分	326,793	350,095
純資産合計	2,169,477	2,150,270
負債純資産合計	5,060,456	4,805,190

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	5,096,646	4,869,459
売上原価	2,944,356	2,856,178
売上総利益	2,152,289	2,013,280
返品調整引当金戻入額	11,155	14,185
返品調整引当金繰入額	28,809	30,425
差引売上総利益	2,134,635	1,997,040
販売費及び一般管理費	1,245,470	1,263,791
営業利益	889,165	733,248
営業外収益		
受取利息	2,831	2,431
受取家賃	7,110	6,727
保険戻金	5,645	-
その他	4,054	1,976
営業外収益合計	19,642	11,135
営業外費用		
支払利息	41,514	31,297
支払手数料	11,619	9,866
株式関連費	-	15,986
その他	26,166	15,655
営業外費用合計	79,299	72,806
経常利益	829,507	671,578
特別利益		
固定資産売却益	-	105
投資有価証券売却益	-	7,119
貸倒引当金戻入額	371	-
新株予約権戻入益	-	3,096
特別利益合計	371	10,321
特別損失		
固定資産除却損	842	288
投資有価証券売却損	-	26,070
投資有価証券評価損	20,520	545
貸倒損失	6,000	-
支払手数料	1,529	-
災害による損失	-	10,782
その他	-	6,038
特別損失合計	28,892	43,725
税金等調整前四半期純利益	800,987	638,173
法人税、住民税及び事業税	247,797	73,080
法人税等調整額	26,530	183,855
法人税等合計	221,266	256,935

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	579,720	381,238
少数株主利益	21,266	23,302
四半期純利益	558,454	357,935

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	579,720	381,238
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	3,768	603
その他の包括利益合計	3,768	603
四半期包括利益	575,952	381,841
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	554,686	358,539
少数株主に係る四半期包括利益	21,266	23,302

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び前第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
減価償却費	133,530千円	145,142千円
のれんの償却額	35,047	35,047

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年5月9日 取締役会	普通株式	126,360千円	800円	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成23年5月18日並びに平成23年11月10日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議し、実施いたしました。平成23年5月19日から平成23年9月30日までに600株(24,689千円)、平成23年11月11日に7,600株(251,180千円)の自己株式を取得いたしました。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	WEB	モバイル	雑誌	データ サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	773,935	2,753,126	1,086,863	476,838	5,090,763	5,882	5,096,646
セグメント間の内部 売上高又は振替高	51,759	8,019	12,988	2,588	75,355	-	75,355
計	825,694	2,761,145	1,099,852	479,426	5,166,118	5,882	5,172,001
セグメント利益	260,354	982,387	311,380	133,386	1,687,510	4,716	1,692,226

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外部顧客へのブランド使用料等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,687,510
「その他」の区分の利益	4,716
セグメント間取引消去	6,607
のれんの償却額	35,047
全社費用(注)	774,620
四半期連結損益計算書の営業利益	889,165

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	WEB	モバイル	雑誌	データ サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	749,435	2,542,715	1,057,181	516,688	4,866,020	3,438	4,869,459
セグメント間の内部 売上高又は振替高	41,558	6,933	10,795	2,290	61,578	-	61,578
計	790,993	2,549,649	1,067,977	518,978	4,927,598	3,438	4,931,037
セグメント利益 又は損失( )	252,478	852,355	232,760	159,609	1,497,203	14,583	1,482,619

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外部顧客へのブランド使用料等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
 主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,497,203
「その他」の区分の利益	14,583
セグメント間取引消去	1,711
のれんの償却額	35,047
全社費用(注)	716,034
四半期連結損益計算書の営業利益	733,248

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
 該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	3,569円08銭	2,292円47銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	558,454	357,935
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	558,454	357,935
普通株式の期中平均株式数(株)	156,470	156,135
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	3,539円56銭	2,288円69銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	1,305	258
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

## 2【その他】

該当事項はありません。



## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 2月10日

オリコン株式会社  
取締役会 御中

### 海南監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 齋藤 勝 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 溝口 俊一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているオリコン株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、オリコン株式会社及び連結子会社の平成23年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。